

# 校長室だより

岸和田市立浜小学校 校長：山崎 洋

No. 76 R8(2026)/01/30

「明日も笑顔！ 未来も笑顔!! ～つなげよう“信頼”～」

## ☆韓国のおい出 その1

先週は給食週間で、韓国のキンパについて話題にしました。それで、私が学生時代に韓国を旅したときのことを思い出しました。

以前、ちょうど1年前の校長室だよりで、「若い頃は自転車で日本中を旅していた、そして大学2年の夏、二十歳の誕生日に、日本最北端に到達して、日本一周をひとり祝った」ということを書きました。

日本を旅したら次は海外へ、というのは若者の思考としては自然な流れです。次の大きな休みに、関釜フェリーに乗って韓国に行きました。「関釜フェリー」というのは、山口県の下関と、韓国の釜山(プサン)を一晩で結んでくれる国際船です。船だと自転車を安心して運べますし、何より飛行機と比べてずっと安いので、学生にはありがたい味方です。

釜山に着き、「腹が減ってはいくさはできぬ」と、ごはんを食べることにしました。当時はもちろんスマホなどありませんし、事前に情報を得る手段が何もないので、行き当たりばったりで大衆食堂らしい店に飛び込みました。雰囲気は日本にもある町中華のような店。席に座ってハテ困った、貼りだされているメニューが当然ながらすべてハングル文字で、なにが書いてあるか見当もつきません。これが中国語なら、何となく想像がつくところですが、仕方がないので、でたらめに「これ!」と指さしたものを待つことにしました。しばらく待って出てきたのは目玉焼きが上に乗ったチャーハンのような炒めご飯。韓国では、1品を注文すると、おまけにキムチやナムルや数種類のおかずがいっしょに出てくると聞いていたのに、それがない。少しがっかりです。食べてみると普通のチャーハン。おいしいには違いないけれど、海外での食事一食目には韓国料理らしいパンチを期待していた若者には、「日本と変わらないなあ」と、これも少し肩透かしをくらった感じでした。…続きは次号で。